

# 福島第一原子力発電所 共用プールにある使用済燃料の乾式キャスク装填開始について

< 参 考 資 料 >  
2022年5月9日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2022年度中頃より6号機使用済燃料プールからの燃料取り出し（燃料1,456体）に向けて、共用プールの空き容量を確保するため、共用プールに貯蔵している使用済燃料を安全性が評価された輸送貯蔵兼用キャスクに装填し、キャスク仮保管設備に移送し、保管する作業を予定しています。
- 2022年3月16日、新規製作した輸送貯蔵兼用キャスク4基を海上輸送により発電所構内に搬入しました。2023年度までに22基を搬入予定です。
- その後、2022年3月16日福島県沖地震発生後の3月18日、点検中である運用補助共用施設（以下、共用プール）キャスク搬出入エリアの天井クレーンの走行不能と、3月19日共用プール大物搬入口道路での沈下を確認しており復旧工事を進めてきました。
- その後、調査により走行ブレーキ4か所中1か所が解除されず、ディスクの回転が制動されていたため走行不能になっていたことを確認しました。
- 走行不能の原因は、ブレーキや減速機の位置ずれが生じ、ディスクとパッドが強く接触していたことによるものと判断しています。
- そのため、減速機の位置調整、ディスクとパッドのすき間調整を行い、正常に動作することを確認しています。ギアカップリングカバーの損傷については、予備品への交換を実施しております。  
(2022年4月18日までにお知らせ済)
- その後、4月25日に共用プール大物搬入口前の道路の一部沈下の応急復旧工事が完了するとともに、4月28日には共用プール1階の天井クレーンの荷重試験（※）が完了したことから、5月11日（水）より、共用プールにある使用済燃料の乾式キャスク装填を開始します。
- 引き続き、周辺環境のダスト濃度を監視しながら安全最優先で作業を進めてまいります。

（※）荷重試験とは、実際に乾式キャスクをつり上げて試験すること 1

# 【参考】 共用プールからの使用済燃料構内輸送作業予定



項目	2022年												2023年												2024年		
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
輸送貯蔵兼用 キャスク受入	4基 ▼				4基 ▼						4基 ▼		4基 ▼					4基 ▼			2基 ▼						
使用済燃料 構内輸送作業※1				6基										16基													
設備点検※2												[点検]															
6号機使用済 燃料取り出し							2023年度中目途 完了予定																				

※1 キャスク受入時期の変更により、スケジュールは変わる可能性がある。

※2 燃料取扱機、搬送台車、天井クレーン

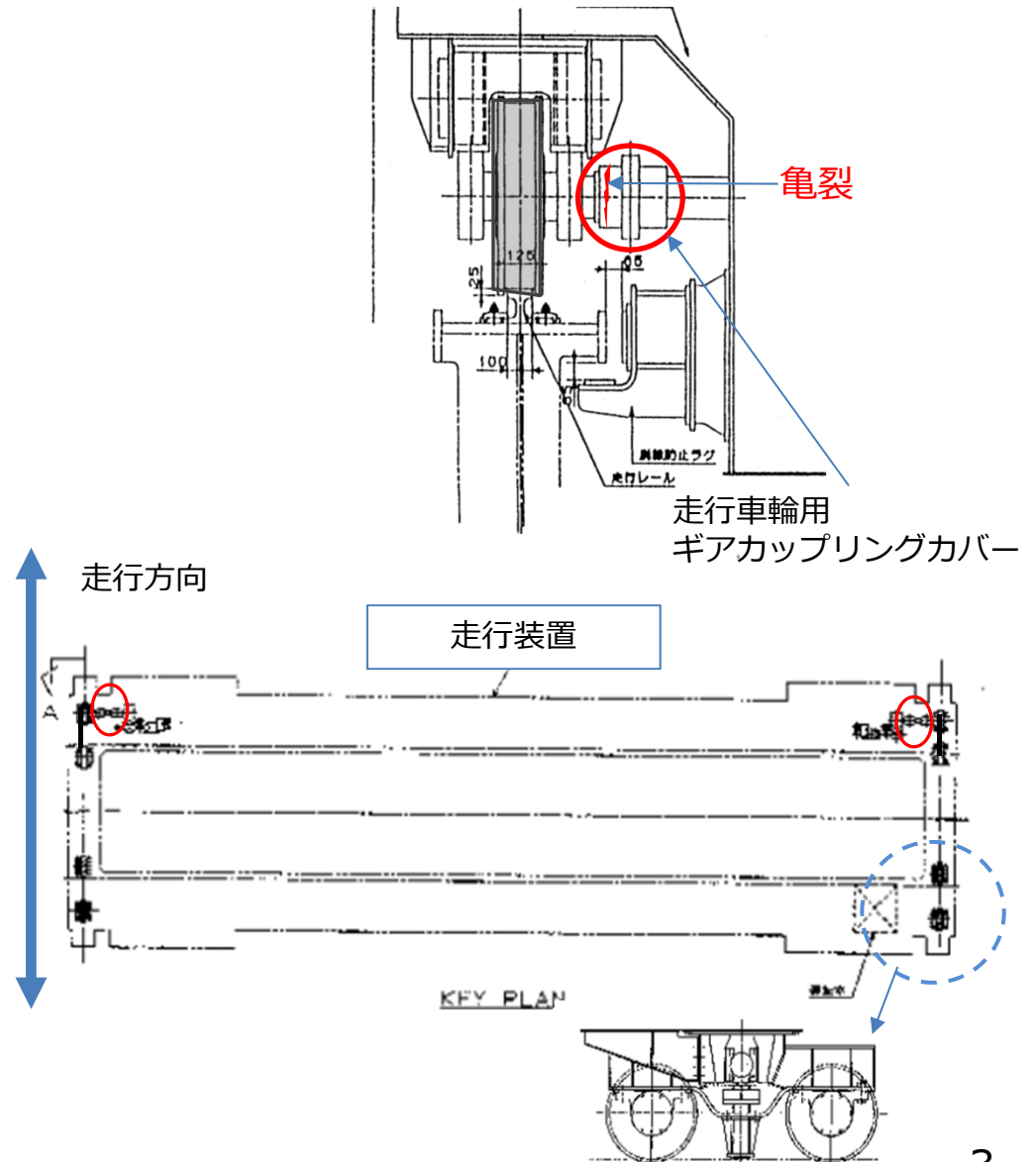
# 【参考】 3.16福島県沖地震発生後の状況



共用プール



共用プールキャスク搬出入エリア天井クレーン  
共用プール建屋へ搬入したキャスクを搬送台車へ乗せるために、1階に設置されてある天井クレーン



## 【参考】復旧前後の様子

---

＜ギアカップリングカバーの損傷箇所＞  
損傷箇所



交換後



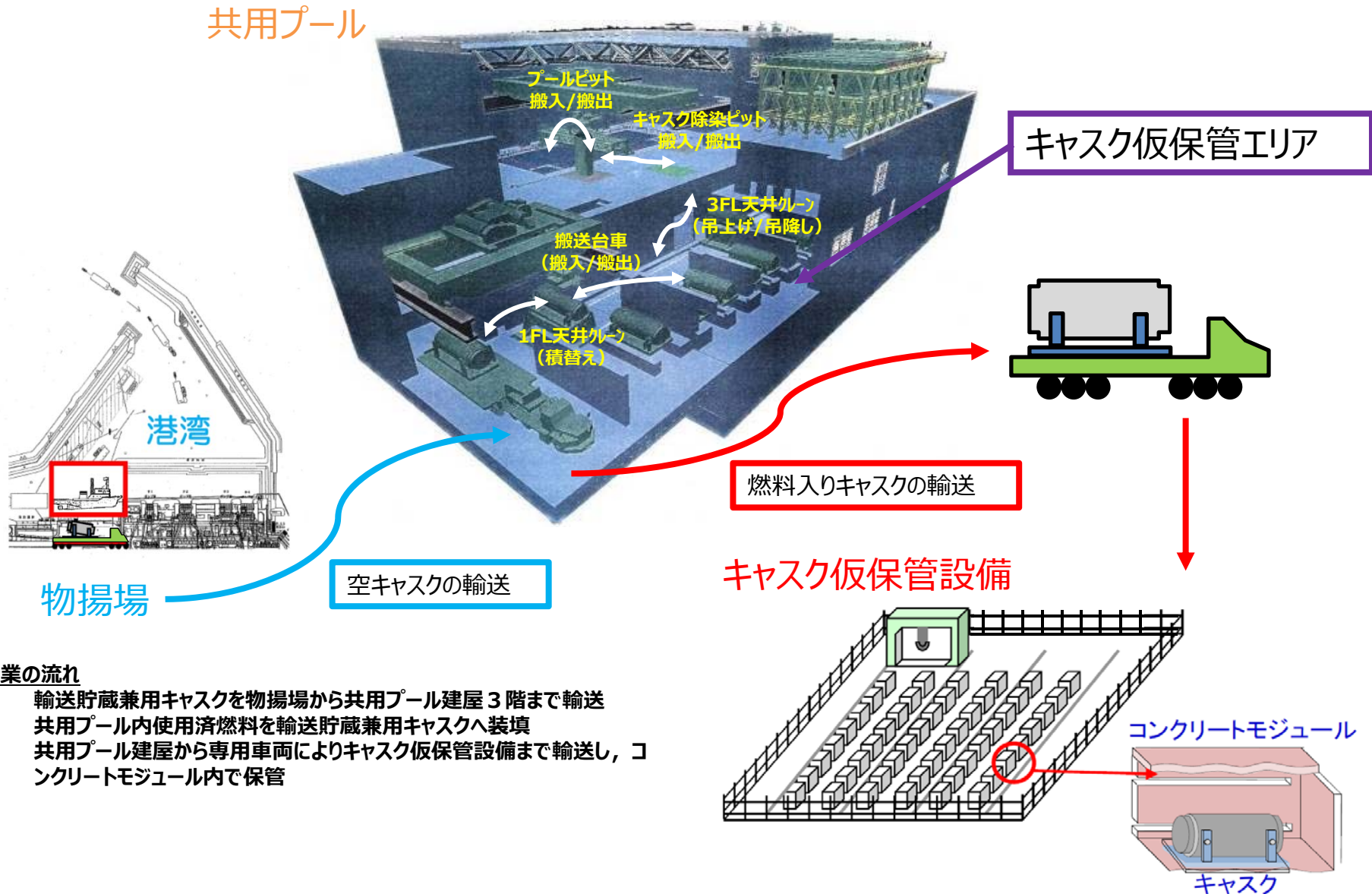
＜共用プール大物搬入口前の道路の一部沈下＞  
施工前



施工後



# 【参考】 共用プールからの使用済燃料構内輸送作業の流れについて



## 作業の流れ

1. 輸送貯蔵兼用キャスクを物揚場から共用プール建屋3階まで輸送
2. 共用プール内使用済燃料を輸送貯蔵兼用キャスクへ装填
3. 共用プール建屋から専用車両によりキャスク仮保管設備まで輸送し、コンクリートモジュール内で保管